



昨年12月、2年生では国際理解教育としてブラジルと中国について学習しました。この学習は、ブラジルと中国にルーツをもつ二人の生徒が中心となってすすめてくれました。自分たちでつくったパワーポイントにより、それぞれの国のことばや食べ物・遊び、学校の様子などをたいへんわかりやすく説明してくれました。



ブラジルってどんな国？



ブラジルはこんなとこ

ブラジルは学校は昼で終わります

給食はありません
部活もありません
掃除もありません



ブラジルの学校の様子



ブラジルの観光地

社会や経済のグローバル化が急速にすすむことにより、異なる文化の共存や持続可能な社会の発展にむけて、国際協力が求められる時代です。人材育成面での国際競争も加速していることから、学校においても国際理解教育を充実することが求められているように思います。

【生徒の感想】



・世界にはいろいろな文化や風習があって、それぞれ楽しいところがあることを知りました。日本とはちがった食べ物や遊びを初めて見て、もっと外国のことを知りたいなあと思いました。ブラジルの文化をつたえようとしてくれたことに感謝しています。

・今回の授業はとても楽しくて、たくさんを知ることができました。伝統的な料理はどれもおいしそうだし、クイズはおもしろくてためになりました。今回の授業をうけられてほんとうによかったです。自分の視野を広げることができました。

・今までは外国にあまり興味はなかったけれど、この授業を聞いてから外国に行ってさまざまな国の文化を学びたいと思うようになりました。